

ムクロジ科 ムクロジ属

ムクロジ (無患子)

Sapindus mukorossi Gaertn.

自生環境

植栽 (社寺や公園など)

原産地

東アジアなど

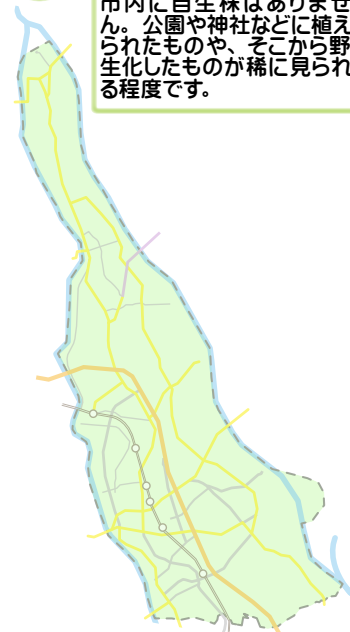
予想される被害

(今のところ特になし)

日本にも分布するとされますが、市内のものは自生ではなく社寺、公園などに植栽されたものです。果実はたくさんできますが、野生化するほどの繁殖力はないようです。

市内の分布状況

市内に自生株はありません。公園や神社などに植えられたものや、そこから野生化したものが稀に見られる程度です。



特徴

☆ 東アジア～南アジアの暖地に自生する落葉高木です。国内でも、本州 (茨城県・新潟県以西)・四国・九州・南西諸島・小笠原諸島などの暖かい地域に分布するとされています。ただ神社などに植栽されるため、本当の自生かどうかは不明です。市内にも自生はなく、見られるのは植栽株です。

☆ 初夏、枝先に直径 5mm ほどの小さな黄緑色の花がびっしりと咲きます。その後は直径 2～3cm の丸い果実ができ、秋に黄色く熟します。完熟するとべっ甲飴のような色調になります。

☆ 果皮は水をつけてこすると泡立ち、古くは石鹸の代用になりました。また、果実の中には直径 1cm の黒くて硬い球形の種子が 1 個入り、これを羽根つきの球として利用します。

昔は石鹸の代わりに

ムクロジの果皮をつぶして、水に入れてかき混ぜると、よく泡立ちます。これは石鹸の代わりになり、昔は洗髪や洗濯などにも使われました。これは、果皮に含まれるサポニンという成分が関係しています。サポニンは、水に溶けて泡立ち、洗剤ほど強くはありませんが、同様に汚れを落とす効果 (界面活性作用) があります。名前のサポ (sapo) は石鹸を意味するラテン語から来ています。

花びら 4～5 枚
雄しべは 8～10 本



ひとつひとつの花は
小さいものの、
びっしりと咲くので目につく



果実は熟すと
やや透きとおった
飴色になる



タネはとてもかたいため、
羽根つきの球として使われる



果実を水につけて
かき混ぜるとよく泡立つ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

